

# 定有堂教室「ドゥルーズを読む会（哲学を楽しむ会）」

## 1 日程、基本コンセプト

- ① 日程 原則として隔月木曜日 19:00～
- ② 基本コンセプト

「逸脱」を「楽しむ」  
＝ドゥルーズと皆さんの関心のあるテーマを往還する

## 2 第22回までの日程とテキスト

### 2022年

- 第1回 2022年10月27日（木） 岩田のレジメ※による全般説明  
※定有堂ホームページ「今月読んだ本」第222～224回参照
- 第2回 2022年12月15日（木） 『千のプラトール（上）』所収「リゾーム」

### 2023年

- 第3回 2023年2月9日（木）『意味の論理学（下）』所収「ミッシェル・トゥルニエと他者なき世界」
- 第4回 2023年4月13日（木）『記号と事件』
- 第5回 2023年6月1日（木） 綾屋紗月・熊谷普一郎『つながりの作法』（NHK出版、2010年）
- 第6回 2023年8月17日（木）  
『レヴィナス・コレクション』（ちくま学芸文庫、1999年）所収、「逃走論」（1935年）
- 第7回 2023年10月12日（木）  
『レヴィナス・コレクション』（ちくま学芸文庫、1999年）所収「ヒトラー主義哲学に関する  
若干の考察」（1934年）  
小野寺拓也・田野大輔『ヒトラーは「良いこと」もしたのか』（岩波ブックレット、2023年）
- 第8回 2023年12月14日（木） 渡喜喜庸哲『現代フランス哲学』（ちくま新書、2023年）

### 2024年

- 第9回 2024年2月1日（木） 木田元『反哲学史』（講談社学術文庫、2000年）
- 第10・11回 2024年4月2日（火）6月13日（木）  
木田元『現象学』（岩波新書、1970年）
- 第12～14回 2024年8月20日（火）10月10日（木）12月5日（木）  
浅田彰『構造と力』（中公文庫2023年、勁草書房1983年）

### 2025年

- 第15回 2025年2月20日（木）  
船木亨『ドゥルーズ』（清水書院、人と思想シリーズ、1994年）
- 第16回 2025年4月17日（木）  
宇野邦一『ドゥルーズ 流動の哲学』（講談社学術文庫2020年、講談社選書メチエ2001年）
- 第17～19回 2025年6月19日（木）9月2日（火）10月17日（木）  
國分功一郎『ドゥルーズの哲学原理』（岩波現代全書、2013年）
- 第20回 2025年12月4日（木） 松本卓也『斜め論』（筑摩書房、2025年）

### 2026年

- 第21回 2026年2月5日（木）  
江川隆男『哲学は何でないのかー差異のエチカ』（ちくま新書、2025年）
- 第22回 2026年3月12日（木）  
澤野雅樹『ドゥルーズ入門ー来るべき知への招待』（平凡社新書、2025年）